



# ながくてごみ減量化通信

回 覧

～第16号～ 令和5年7月 長久手市役所環境課

長久手市は現在、市民のみなさんにごみの減量をお願いしています。今回は、6月21日（水）に市が洞小学校で行った環境学習の内容を紹介します。講師にサントリーグループの方をお迎えし、「リサイクルで地球環境を守るために自分ができること」をテーマに、ペットボトルリサイクルについて、児童のみなさんと考えました。内容の一部を抜粋して、お知らせします。

## 長久手市のペットボトルは、どのようにリサイクルされていくの？



消費



回収



選別



洗浄



切断・加工



プリフォーム

(ペットボトルの子ども)



ペットボトル



このように何度もリサイクルされて、ペットボトルに生まれ変わっていきます。



PET

## ペットボトルを出すときのお願い！



中身を空にして  
水ですすぐ



キャップと  
ラベルを外す



つぶす

長久手市では、つぶされないまま出されるペットボトルが多いのが現状です。

つぶされていないと、かさが増えて収集車を圧迫するなど、収集の際に悪影響を及ぼします。

ペットボトルは、つぶして出すよう、ご協力をお願いします。

## ★市が洞小学校での環境学習の様子★



↑

市が洞小学校のみなさんは、とても積極的に手を挙げて質問に答えてくれました。質問の答えも的確で驚きました。

⇒

おしゃべりや居眠りをせず、真剣な様子で話を聞いてくれました。

この写真は、学んだことを一生懸命メモしてくれている様子です。



←

これまでの環境学習で繰り返し伝えてきた「混ぜればごみ、分ければ資源」というリサイクルのキーワードを覚えてくれている児童のみなさんも多く、とてもうれしく思いました。

市が洞小学校のみなさんありがとうございました！！

